

この時計を見ながら「長い針が1, 2, 3, いつならかわってくれる?」



☆ステキ☆

- ・上手に自分で友達に言えたね。
- ・約束の時間まで頑張ってたね。(交代まで28分待ちました!)
- ・選択肢を与えるなんてすごい!

エピソード

A児が人形遊びをいたしました。B児は自分も使いたいけれど、A児が使いだしたばかりなのを見ていたので「終わっただらからして」と声を掛け「やっぱり時計の長い針が2, いや1かな, 3かな?」と悩み、「Aちゃん, 1, 2, 3いつならかわってくれる?」と尋ねました。「3やったらかわってあげる」とA児が返事をしたので、B児は「わかった!」と嬉しそうに答えました。B児はしばらく傍で遊び、その後違う遊びのコーナーに行きましたが、時計をチラチラ見て落ち着かない様子。時計の針が3になるとすぐ、ニコニコしながら保育者の所にやってきました。「約束の時間だね」と保育者が二人に声を掛けると、A児も満足して遊べたので「いいよ」とずっと人形をB児に渡しました。B児は人形をぎゅっと抱きしめ満面の笑みを浮かべました。

子どもの育ちや学び

「かしてー」「今使ってるからだめ」そんな子どものやり取りはよく見られます。そんな時、「時計の針が〇(数字やマーク)の所に来たら代わろうか」と保育者はよく声をかけます。先に使っていた子は十分遊びに満足し、気持ちよく次の子に代わることができ、代わってもらった子も嬉しそうに遊び始めます。そのやりとりをB児は自分の言葉で、しかも選択肢付きで時計を見ながら一生懸命考えてA児に伝えることができました。今まで保育者の伝えてきた言葉が、しっかりとB児に伝わり、それを自分のものにして言葉にすることができたことに成長を感じます。

約束した時間を守ったこと(A児もB児も)集団生活の中で大切なことが身につけてきてくれて嬉しいと思います。

保育者の思い

- ・子どもそれぞれが満足して遊べることに配慮して、今まで保育者が交代する時間を知らせてきました。時計の数字やマークを使うことで、視覚的に時間が分かり、また数字にも少しずつ関心を持っていてくれているのではないかと思います。
- ・自分の気持ちを自分の言葉で伝えてほしいと思い、B児が伝える様子を見守ることにしました。
- ・上手に考えを言えたこと、二人とも時間をきちんと守れたこと、たくさん褒めてあげました。

家庭だったら

「時計の針が〇になったら片付けようね」「〇時になったらお家に帰るよ」と、時計を使って声掛けをされているご家庭もあると思います。少し時間に余裕をもってB児のように数字を自分で選ばせてみるのもいい方法だと思いますよ。自分の決めた数字だとずっと行動に移せると思います。

